

八幡南連覇



2年連続で夏切符をつかんだ八幡南ナイン



第54回選手権大会支部予選

「第54回選手権大会」(8月25・27日・大阪)中学生の部の支部予選が九州各地で行われ、出場チームが次々に決まっている。北九州支部は八幡南ボーイズが2年連続6

【中学】北九州支部予選 2回戦〳決勝

(17、18日・桃園球場ほか)

度目、熊本県支部は熊本中央ボーイズが4年連続5度目、大分県支部は別府ボーイズが3年ぶり5度目の夏切符を獲得した。
(三削 大輔)
※福岡県南、西九州、宮崎県支部予選2回戦以降の結果は後日掲載

▼決勝

八幡南	200	110	1	5
北九州中央	000	000	0	0
【南】内木場、柴田翔(本間【北】七條、久保田、葉師寺・奥永▽三塁打)葉山、柴田翔(南)▽二塁打)梶原(南)久保田(北)				

内木場&柴田翔 完封リレー完成

八幡南は決勝で完封リレーが決まり、北九州中央を5-0で退けた。持ち味の投手力を発揮して、昨年の春から4季連続で全国大会に名乗りを上げた。

先発左腕の内木場陽也は5回を無失点と好投した。「優勝するため、絶対に抑えよう」と思い、マウンド上がったと初回からエンジン全開で3者連続三振と最高の立ち上がりを見た。2回以降に計4安打を許したが、要所を締めた。「真つすが走っていて左打者に対するスライダーも良かった」と振り返った。6回以降は右腕の柴田翔大につなぎ、2イニングをゼロに抑えた。柴田翔は3安打3



決勝で先発し、5回を無失点に抑えた八幡南・内木場

打点と、打撃でも大活躍。初回の適時打に続き、3回には先頭で打席に入り、追加点につなぐる三塁打。その後も5回に犠飛、7回に内野安打で打点をマークした。「2回戦と準決勝で打てなかったのが、『今日は絶対に打つ』と思っていた」と喜んだ。チームは、決勝こそ投打に隙のない試合運びを見せたが、準決勝までは苦しい試合の連続だった。

宇部との2回戦は、1点リードで迎えた7回表に3ランを打たれるなどして4点を奪われた。一転して3点を追う展開となり、徳野晴美監督は負けを覚悟したという。しかし7回裏に追いついで延長戦に持ち込み、タイブレーク(1死満塁)の延長8回にサヨナラ勝ち。準決勝の八幡戦も最終回に逆転し、勝利を収めた。

徳野監督は「驚くような粘りを見せてくれた。選手たちに感謝しています」と語り、野中曉人主将は粘り強くて、負けない八幡南の野球ができた」と胸を張った。今年3月の春季全国大会は初戦敗退に終わっており、夏はそのリベンジに燃えている。自慢の投手力に、粘り強さも加わった八幡南ナイン。チーム一丸となって上位進出を目指す。

▼1回戦

八幡南	101	122	0
山口	200	000	0
【南】柴田翔、内木場、梶原一本間【山】柳井、丸谷一坂野▽三塁打)高橋(南)坂野(山)▽二塁打)柿原、葉山(南)丸谷(山)			

▼2回戦

宇部	200	000	40
八幡南	002	100	31X
(延長8回タイブレーク)			
【宇】磯谷太、守分、渡辺陵一配川【南】内木場、柴田翔一本間▽本塁打)配川(宇)▽三塁打)山中(南)▽二塁打)配川、守分(宇)梶原、葉山(南)			

▼準決勝

八幡南	021	000	2
八幡	100	030	0
【南】梶原、柿原一本間【八】柳井谷、松尾一勝山▽三塁打)葉山(南)▽二塁打)山中(南)田中(八)			

▼決勝

八幡南	200	110	1
北九州中央	000	000	0
【南】内木場、柴田翔一本間【北】七條、久保田、葉師寺・奥永▽三塁打)葉山、柴田翔(南)▽二塁打)梶原(南)久保田(北)			